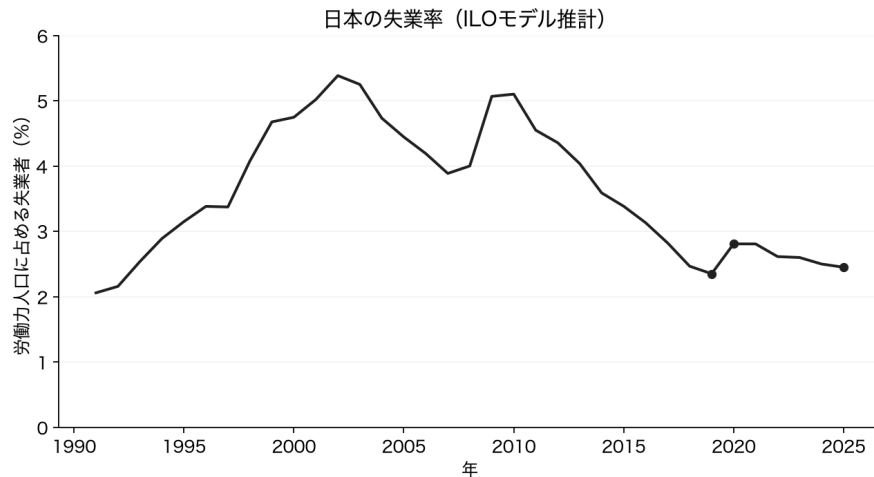


日本の失業率を分母と推計条件から確かめる

ILOモデル推計の日本の失業率は2025年に2.45%。2019年より0.10ポイント高かった。就職のしやすさや賃金の良し悪しを、この率だけで判断しない。



日本の失業率

主な結果

2019年は2.35%、2020年は2.81%、2025年は2.45%。2020年と2019年の差は0.46ポイントだった。日本の1991～2025年の系列内では2002年の5.39%が最大だった。

前提と限界

分母は就業者と失業者を合わせた労働力人口。人口全体ではない。データにはモデル推計を含み、保存CSVでは観測値と補完値を区別できない。国別順位や政策の効果は求めている。

企業の人事記録で調べる場合

在籍人数と集計期間をそろえて退職率を比較する。応募者数や採用までの日数は別に集計し、一つの率だけで採用状況を判断しない。

出典：[ILO / 世界銀行の失業率指標](#)。CC BY 4.0。加工して集計・作図。確認日2026年9月7日。